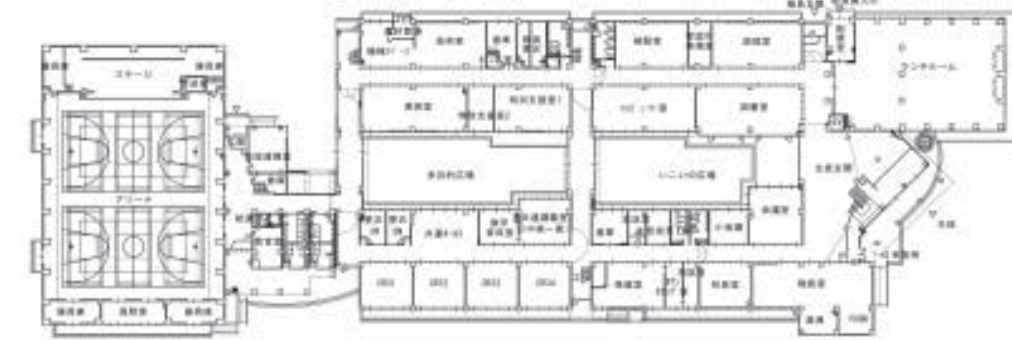


# 朝日中学校の統合中学校名が「朝日中学校」に決定しました！

現在建設中の朝日中学校、糸生中学校の統合校の校名案を昨年11月中旬に朝日地区内で公募したところ、514件47案の応募が寄せられました。  
 (仮称)朝日中学校開校準備委員会では、寄せられた校名案を慎重に検討し、数点に絞り、宮崎泰治委員長から関町長に報告されました。  
 12月の定例議会にて、正式に「朝日中学校」に決まりました。

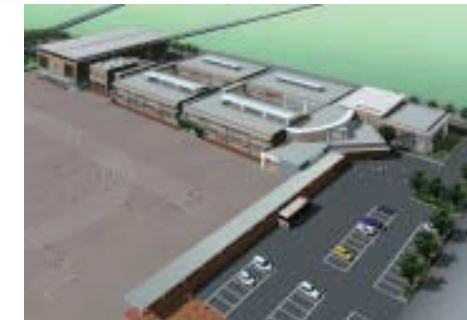


校名案を関町長に報告する宮崎委員長



1階平面図

校舎：建築面積4,351.51㎡  
 延床面積7,562.07㎡  
 屋体：1,988.58㎡  
 2,587.90㎡



2階平面図

統合朝日中学校建設は、皆さんのご理解とご協力を得ながら、平成21年度の開校を目指し、順調に進んでいます。  
 校舎は、鉄筋コンクリート造2階建てで、屋根にはトットプライト、ハイサイドライトから自然光を取り入れ、側面には硝子を用いるなど、全体的に明るいイメージの学校となっています。内部は、学年ごとに普通教室が4室、少数指導用の教室が1室の計5教室と共通ホールがあります。その他にも、家庭科室、技術室などの特別教室の他に英語教室、器楽室、美術室、生徒と教職員370人が一堂に会して給食ができるランチルーム、2階には視聴覚機器が整備され、1学年が収容できる研修室なども整備されます。その他にも、屋内運動場、剣道を行う武道場や地域連携室などがあります。

## 朝日中学校建設事業進捗状況



昨年、9月20日には、工事の安全を祈り建設地である気比庄地係で安全祈願祭が行われました。

多くの関係者が出席の中、関町長と井上議会議長による鎌入れの神事が厳粛に行われました。

その後、校舎、体育館建設現場ともに杭打ちが始まりました。これは、安定した地盤にまで太い杭を打ち込み、建物の基礎部分となります。この杭は、全て地下に沈んで見えなくなりますが、まさに縁の下の力持ちとなります。

現在は、杭打ち作業が終了し、その杭の上で基礎工事が始まっています。非常に大きな建物になるため、基礎も大きくなります。基礎をするための足場やコンクリートを流し込むための型枠などの組み立て作業が行われており、計画通りに工事が進められています。



H19.10.4撮影

少子高齢化が進む中、次世代を担う子どもへの教育は、国を挙げての大きな課題になっています。統合朝日中学校には、住民交流の場としても利用できる地域連携室が併設され、学校教育の場としてだけでなく、さまざまな地域活動の拠点になるよう工夫されています。



H19.12.28撮影